

4 舞鶴赤れんがハーフマラソン2025の開催について

舞鶴赤れんがハーフマラソン2025の概要

- ▼日時 令和7年10月13日（月・祝）
 - 【ハーフマラソン】 9時30分 スタート
 - 【2km・中学生以下、親子】 9時47分 スタート
 - 【2km・高校生以上】 9時50分 スタート
- ▼定員 【ハーフ】 2,800人 (200人増↑)
 【2km】 500人 (100人増↑)
- ▼募集期間 6月9日（月）～8月4日（月）※先着順
- ▼会場 舞鶴赤れんがパークほか
- ▼コース 日本陸連公認コース

【主催】 舞鶴市、（一財）京都陸上競技協会
 【共催】 （一財）舞鶴市スポーツ協会、海上自衛隊舞鶴地方隊、海上自衛隊第21航空群
 【主管】 舞鶴赤れんがハーフマラソン実行委員会、舞鶴市陸上競技協会



Enjoy the run to the end!

2025 Oct.13

舞鶴を駆け抜ける

MAIZURU RED BRICK HALF MARATHON

舞鶴赤れんがハーフマラソン 2025年10月13日(月/祝)
 日本陸上競技連盟公認大会 RUN as ONE -Tokyo Marathon2025 (一般) 提携大会

エントリー期間 2025 6月9日(月) ~ 8月4日(月)

舞鶴と一緒に盛り上げてくれる GUEST RUNNER

千葉真子さん
アトランタ五輪5000m 金メダル
2020年東京五輪10000m 銅メダル
現在は「F4」級選手として活躍中

こわだ君
京都府立舞鶴高等学校
現在は「F4」級選手として活躍中

先着 3,300 名 ■ ハーフマラソンの部：2,800 名 ■ 2km の部：500 名

エントリは こちら！

主催 舞鶴市 一般財団法人京都陸上競技協会
 共催 舞鶴市スポーツ協会 海上自衛隊舞鶴地方隊 海上自衛隊第21航空群
 主管 舞鶴赤れんがハーフマラソン実行委員会 舞鶴市陸上競技協会

メインサポーター ミズノ株式会社

MCO Marathon Challenge Cup

スポンサー

4 舞鶴赤れんがハーフマラソン2025の開催について

2025大会のポイント

01 新たな名所をコースに追加し、「舞鶴らしさ」がさらに深化

【追加コース】

- ・ ジャパン マリンユナイテッド株式会社の敷地
- ・ カナデビア株式会社の敷地



4 舞鶴赤れんがハーフマラソン2025の開催について

2025大会のポイント

02 ゲストランナーは、京都にゆかりのある2名を招聘

千葉 真子 さん



1976年生まれ、京都府宇治市出身。

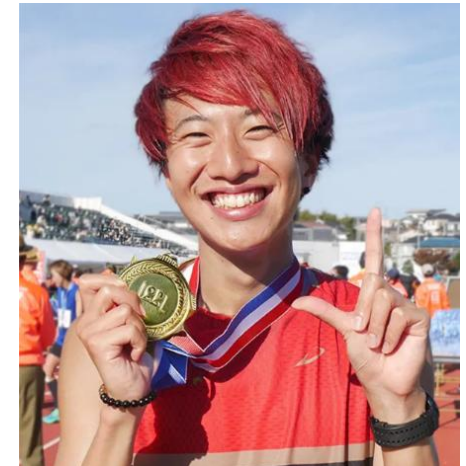
立命館宇治高校から旭化成に入社。1996年アトランタ五輪1万メートルで5位入賞、1997年 アテネ世界選手権1万メートルで日本女子トラック長距離種目初となる銅メダルを獲得するなど、日本女子長距離界のトップ選手として国際舞台で活躍。マラソン転向後はけがに苦渋し、新天地での再挑戦を決断。小出義雄氏に師事した。2度目の世界選手権はマラソンに出場し、銅メダルを獲得。世界で初めて世界選手権のトラック、マラソン両種目でメダルを手にした。

第一線を退いた後は、ゲストランナーとして全国のマラソン大会に出演するほか、「千葉真子BEST SMILE ランニングクラブ」を立ち上げ、市民ランナーの指導や普及活動も積極的に行っている。

こわだ君 さん

■自己最高記録

- ・フルマラソン：2時間22分55秒
- ・ハーフマラソン：1時間4分55秒
- ・10000m 29分16秒
- ・5000m 14分34秒



1997年4月19日生まれ 京都府綾部市出身。

綾部高校では陸上部に所属し3年時に3000m SCでインターハイ出場。神奈川大学で陸上部に所属 2020年箱根駅伝9区出走。

現在は『リバティーにランニングの面白さを伝える』ためマラソンYouTuber【こわだ君】として活動。YouTubeでは『エイドを全部制覇してサブ3』【柔道着サブ3でギネス記録更新】などのエンタメな動画、世界6大メジャーマラソン完走、パリパラリンピックのマラソン伴走など真剣なランニング、『マラソン論文紹介』などためになるマラソン情報と色んなランニングの面白さを発信。

4 舞鶴赤れんがハーフマラソン2025の開催について

2025大会のポイント

03 参加者定員を 3,000人 ⇒ 3,300人に増

ハーフマラソンの部 200人増 ⇒ **2,800人**

2 k mの部 100人増 ⇒ **500人**

04 前年度ハーフの部・優勝者に出走権をプレゼント

前年度のハーフの部、優勝者の男女各 1 名に出走権をプレゼント

05 大会公式 Instagram を新たに開設

ゲスランナーとも連携し、大会の魅力や情報を発信



トピックス

- MCC（マラソンチャレンジカップ）年間大賞2024「特別賞」を受賞

（一財）アールビーズスポーツ財団が主催するMCC、HMCC、MCC100加盟の全国106大会の中から「特別賞ハーフ大会賞」を受賞（選出：2大会）



- 「2024大会」が今年も全国ランニング大会100撰に選出

今年も全国のランナーが投票した評価点の高い上位100大会に「舞鶴赤れんがハーフマラソン2024」が選ばれたもの。2年連続

4 舞鶴赤れんがハーフマラソン2025の開催について

部門		参加料 (R6と同額)	年度	大会内容	申込者数	(定員)
ハーフ		5,500円	平成25年	舞鶴赤れんがハーフマラソン初開催 ※市制施行70周年記念事業	2,466人	(2,500)
2 k m	親子	2,000円	平成26年	舞鶴赤れんがハーフマラソン2014 ※定員増加(2,500人⇒2,600人)	2,589人	(2,600)
			平成27年	舞鶴赤れんがハーフマラソン2015	2,631人	
			平成28年	舞鶴赤れんがハーフマラソン2016	2,642人	
			平成29年	舞鶴赤れんがハーフマラソン2017	2,696人	
	小・中学生	1,500円	平成30年	舞鶴赤れんがハーフマラソン2018	2,622人	(3,000)
			令和元年	舞鶴赤れんがハーフマラソン2019 ※定員増加(2,600人⇒3,000人)	2,996人	
			令和2年度	コロナ禍の影響により中止		
			令和3年	舞鶴赤れんがハーフマラソン2021 オンライン開催	1,236人	
	高校生以上	2,000円	令和4年	舞鶴赤れんがハーフマラソン2022	2,092人	(3,000)
			令和5年	舞鶴赤れんがハーフマラソン2023	3,003人	
			令和6年	舞鶴赤れんがハーフマラソン2024	3,005人	

問い合わせ先

事業名	担当課	担当者	電話番号	FAX番号	メールアドレス
舞鶴赤れんがハーフマラソン 2025の開催について	スポーツ振興課	堂田 彦坂	0773-66-1058	0773-62-9891	suposin@ city.maizuru.lg.jp